

市川市議会は年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。
(開会予定日は6面に掲載しています)
市議会だよりは原則として定例会が終了した月の翌々月の第2土曜日と1月1日に発行(新聞折り込み)しています。

いちかわ 市議会だより

2011年(平成23年)第194号

2月12日(土)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>

12月定例会

市長提出議案32件を可決

介護保険条例・都市公園条例など改正



都市公園条例改正で平成23年度から商業広告物を掲出することができる(点線枠部分)ようになる国府台公園野球場(写真上)と国府台市民体育館(写真下)

市川市特別職の職員の給与及び議員報酬等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正

市議会は12月定例会で、昨今の厳しい経済状況を考慮し、平成22年度の議員の期末手当支給額を年間0.2か月相当分引き下げる条例案を発議し、これを全会一致で可決しました。
また、市長から、国の人事院勧告等を考慮し、一般職職員及び特別職職員等の期末手当の引き下げ等を行う各条例案が提出され、いずれも可決されました。

市議会は、平成22年12月定例会を11月26日から12月13日まで開催しました。
12月定例会では、市長から市川市介護保険条例の一部改正、市川市都市公園条例の一部改正、市川市少年自然の家設置及び管理に関する条例の一部改正、平成22年度市川市一般会計補正予算(第6号)などの議案32件、報告4件が提出され、議員からは、市川市特別職の職員の給与及び議員報酬等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正、ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書の提出についての発議11件が提出されました。その他、請願及び陳情の審議、29人の議員による一般質問などを行いました。
本会議での採決の結果、市長提出議案の32件を原案通り可決した他、議員提出の条例改正案1件及び意見書案6件を可決、意見書案4件を否決しました。この他、陳情4件を不採択としました。

◆主な議案

○市川市介護保険条例の一部改正について
要介護認定等の審査判定業務を行う介護認定審査会の委員の負担軽減を図ることにより、効率的かつ円滑な介護認定を行うため、介護認定審査会の委員の定数を70人から100人以内に増員するものです。

【主な質疑】

「今回の条例改正の経緯・根拠は何か」との質疑に対し、「介護認定審査会は、医療・保健・福祉等の各分野から任命された70人の委員が10の班に分かれて、各班が毎週1回審査会を開催している。各班の中に2週に1回出席する委員と毎週1回出席する委員があり、毎週出席する委員の負担が大いことから負担軽減を図るため、委員の定数を30人増員し100人とすることにより、全委員が2週に1回の出席となり、より効率的かつ円滑な審査・判定が行えるものと考えている」との答弁がなされました。

また、「申請から判定までの期間は、原則30日以内となっているが、新規申請の場合、平均36日程度かかっているとのことである。期間が30日を超えている理由と短縮することは可能か」との質疑に対し、「審査・判定までに期間を要している理由としては、主治医意見書の入手に時間がかかる場合、訪問調査において対象者の心身の状態が不安定で調査ができない場合、調査時に立ち会う家族等の都合などにより、期間を要する場合がある。主治医意見書や訪問調査票の早期入手、更には事務処理等を検証し、引き続き一日でも早い審査・判定に努めていく」との答弁がなされました。

○市川市都市公園条例の一部改正について

国府台公園の野球場及び体育館の維持管理費に充てるため、これらの施設の用途・目的を妨げない限度において、商業広告物を掲出することができるようにするものです。

○市川市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について

市川市少年自然の家について、利用者の利便性の向上を図るため、平成23年度から祝日を開所日とするものです。

○平成22年度市川市一般会計補正予算(第6号)

一般会計補正予算案は、生活保護扶助費など22億6459万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ133億5213万3千円とするものです。

◆主な発議

○市川市特別職の職員の給与及び議員報酬等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について(上欄参照)

○ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書の提出について

成人T細胞白血病(ATL)や脊髄疾患(HAM)を引き起こすヒトT細胞白血病ウイルス1型の感染拡大を防止するため、診療拠点病院の整備や予防・治療法の研究開発、国民への正しい知識の普及啓発等の対策を総合的に推進するよう政府に求めるものです。

◆報告

専決処分承認を求めることについて等の報告がなされました。

一 般 質 問

12月定例会では、29人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

民主・市民＝民主・市民連合
社民・市民＝社民・市民ネット

行 政

都市ブランドの構築

松永鉄兵議員(緑風会)

都市ブランドの構築には、本市を特徴づける施策を継続的に発信し続けることが重要である。健康都市

健康都市施策 今後も取り組むのか
美しいまち目指し健康都市の実現を

施策も本市を特徴づける施策である。今後も継続的に取り組んでいくのか。また、施策のPRには市民の声を聞く事と、公共的なメディアを利用したマーケティング

グの両方が必要ではないか。
答 人々が住みたくなるようなまち、一度住んだら住み続けたいような美しいまちを目指す取り組みを行い、「健康都市いちかわ」を実現していきたい。PRについては、施策の実施状況を定期的に公表すると共に、他市の先進的な取り組みを参考にしていきたい。

チャレンジド オフィス いちかわ

石原美佐子議員(民主・市民)

平成23年3月から「チャレンジド オフィス いちかわ」が開設され、本市職員として初めて知的及び精神障害者を最長3年間の非

障害者雇用に期待 内容と目的は
最長3年雇用 後の就労につなげる

障害者を採用するシステムができ、大きな期待を持っている。本事業の内容と狙いについて、考えを問う。

常勤職員として採用し、1日に6時間15分、週5日の勤務で、ジョブコーチのサポートのもと、本庁舎及び須和田の丘支援学校での事務補助や軽作業に従事するものである。障害のある方がこの勤務で得た経験を活かし、一般企業等への就労につながるよう、関係機関と連携し支援していく。

地上波デジタルへの移行

堀越 優議員(公明党)

平成23年7月に、テレビは地上波デジタル(地デジ)への完全移行となる。地デジ化は、サービスの多様化

市内の対応状況と市の取り組みは
対応世帯は約85% 国の施策に協力

や電波の有効利用などが理由とされるが、機材の設置更新など、家庭や市の施設にも影響が大きいと考える。市内世帯や市の施設の対応状況と、経済的弱者への助

成の取り組みについて問う。
答 地デジ化については、市内世帯の約85%が対応済みと考えている。また、市の施設では約94%が対応済みで、完全移行前までに全て対応する予定である。国は低所得者等に対する支援策を拡充しており、市も広報活動等を通じて国に協力していきたい。

スポーツ施設の広告掲示

加藤武史議員(自由クラブ)

私が4年間要望してきたスポーツ施設の広告有料化に伴う条例案が12月定例会で可決した。今後の予定は

各競技団体へ協力を求める考えは
初の試み 協力を得て進めたい

どうなっているのか。企業からは市への納税と、各競技団体にも支援できる一石二鳥の企画だと聞いている。募集の際、競技団体等に協力を求める考えはないか。

答 平成23年4月1日に広告掲出することを目標に、2月から広告主を募集、3月中に決定するよう準備している。また、スポーツ施設の広告掲出は本市では初の試みであり、募集の際には各関係諸団体を通して、活動を支援している企業等の紹介など、協力を得ながら進めていきたい。

環 境

市川市みどりの基本計画

秋本のり子議員(社民・市民)

市川市みどりの基本計画における、みどりの市民大

市民との協働 今後の方向性は
アクションプランの進捗踏まえ検討

中からボランティア団体が誕生し、本市の緑地整備や保全に努めている。アクションプランも21年度で終了しているが、今後の市民との協働の方向性を、どのように

に考えているのか。
答 緑の保全にかかわる市民との協働については、みどりの基本計画のアクションプランに基づき進めている。今後は現在実施中の緑量調査の結果により、みどりの基本計画の見直しの要否を検討し、アクションプランについても進捗状況を踏まえて新たに検討したい。

交 通

コミュニティバス

清水みな子議員(日本共産党)

北国分、中国分など市の北西部地域は、東京歯科大学市川総合病院や市役所方面への交通の便が悪く、住

北西部地域の新路線運行 市の考えは
運行指針に基づき地域と協働で検討

民からコミュニティバスの新設を望む声が多い。バスの新規路線開設の要望に対する市の対応を問う。また、運行開始までに要する期間や、車種の選択はどうか。

答 コミュニティバスは、市が定める運行指針に基づき、地域住民と運行事業者との協働で運営される。住民から運行計画案を受け協議を始めるが、受け付けてから本格運行まで、通常は2年程度かかる。また、道路が狭い場合は小型の車とするなど、地域の実情に合わせて検討して頂きたい。

鉄道騒音(東京メトロ東西線田尻地先)

松永修巳議員(緑風会)

平成21年9月定例会で東京メトロ東西線田尻地先一帯の鉄道騒音防止対策を質

住民が納得できる解決策の見通しは
できる限りの対策 事業者に強く要望

一向に改善が見られず、住民の日常生活に支障が生じている。市は事業者である東京地下鉄株式会社と協議を重ね、住民が納得できる解決策を模索していると聞

くが、対策の見通しを問う。
答 騒音調査の結果、対岸の妙典側の長い区間に設置されている軌道敷への進入防止パネルが防音の役割を果たすことがわかった。田尻側のパネルは区間が短いことから、事業者のパネルの延長と、できる限りの対策を講じるよう、強く要望していきたいと考えている。

市民マナー条例

かいづ 勉議員(道)

市民マナー条例を制定して以来、熱心な啓発活動等により、市民への浸透度は高まっている。今後、市民

日本一美しいまちを目指す考えは
市民全員の協力で進めたい

の意識を一層高め、市川市民が誇りに思い、全国から住みたいという声が上がるといふ、日本一美しい市川市を目指すべきと思うが、どのように考えているか。

答 これまで、PTAや自治会等の協力を得て地域の美化運動に取り組んできた。日本一を目指すためには、規制を強化するだけではなく、全市民的な啓発イベントの実施等を契機として、市民全員の協力により、歩きタバコやボイ捨てがなくなるといふような街づくりを進めていきたいと考えている。

事業仕分け

答申内容は今後どう取り扱うのか

事業仕分けに対する評価

尊重して個別検討し方向性を決定

並木まき議員(民主・市民)

市政戦略会議で実施された事業仕分けについて、答申内容は、平成23年度予算への反映等、今後具体的にどう取り扱っていくのか。また、今回の仕分けの評価すべき点と課題をどう考えるか。今後の在り方として、市民が納得できるよう公平性、透明性をより確保する必要があると思うがどうか。

答 答申内容は尊重するが、行政経営会議で更に個別検討した上で、市の方向性を決めたいと考えている。今回、事業の可視化や市民目線の意見を得られた点は評価するが、評価区分の定義や事前準備に課題が残った。今後、事業の選定方法等を含め、見直しを図りたい。

市政戦略会議での事業仕分け



まちづくり

菅平高原いちかわ村と広報紙発行事業

市有バス貸し出し事業

国道298号整備に伴う地域分断対策

住宅リフォーム助成制度

平成23年度から実施できないか 関係部署と総合的な観点から検討

金子貞作議員(日本共産党)

市民が住宅のリフォームを市内業者に発注した場合、工事費の一部を助成する制度が、県内でも、いすみ市でも23年度から実施する

とはできないか。

答 庁内では、住宅の耐震改修やバリアフリー化等への既存助成制度、事業効果、財源等を見据え、助成対象の公平性や客観性を確保しながら、経済面や雇用面で効果が期待できる制度の整備を模索している。引き続き、関係部署と総合的な観点から検討していきたい。

子供達の未来のために真の対策を 今後も住民と協議し進めていく

増田三郎議員(自由クラブ)

東京外郭環状道路の一般部である国道298号の整備に伴う、須和田、菅野、平田、大和田、稲荷木地域

を進めるべきである。特に分断対策の市の考えを問う。

答 国道298号の建設による地域分断をいかに小さくするかを模索している。

これまでも、地域住民の方の気持ちになって、事業者に要望、意見を伝えてきた。今後も住民の方と協議し、一緒に街づくりを進めていきたいと考えている。

効率性向上が課題 市はどう考える 利用目的を精査し事業効果を高める

かつまた竜大議員(社民・市民)

市有バス貸し出し事業については、事業仕分けで改善の判定が出た。地域コミュニティ活性化の効果を認

答 横浜市営観光バスの例では1日当たり約10万円と聞いている。本市では平成21年度決算ベースで計算すると約9万円である。今後、より効果的な事業となるよう、利用目的を精査することと、より多くの団体の利用に結びつけると共に、実費負担についても調査、検討していきたい。

いちかわ村は廃止 広報は月2回に 事業仕分けの結果尊重し検討進める

鈴木啓一議員(市民の声)

私は本市の事業仕分けを傍聴した。以前から改善すべきと考えていた菅平高原いちかわ村と広報紙発行事業

重要な事は記者クラブへの情報提供や、特別号を発行すれば良いのではないか。

答 いちかわ村については、事業仕分けの結果を尊重し、廃止に向け検討を進めている。広報紙発行事業についても月2回の発行に変更し、紙面構成を工夫することや特別号を発行する方向で検討している。

保健・医療・福祉

介護保険制度

国民健康保険の充実

救急医療

ワクチンの公費助成

平成22年度内の実施はできないか 委託契約や要綱の策定等があり困難

戸村節子議員(公明党)

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種の公費助成が、国の補正予算に盛り込まれた。平成22年度内に新たに実施する自治体もあると聞く。本市も年度内の実施はできないか。また、公費助成をした場合、ワクチン接種にかかる費用はどのくらいになるのか。

答 3つのワクチン接種の公費助成については23年度実施に向け準備を進めている。22年度内の実施は次期定例会で予算の承認を頂いても、委託契約や要綱の策定等が条件となり、困難な状況である。接種に際しては国が積算する接種率で計算すると、新たに約13億6千万円の費用が見込まれる。

近隣市への救急搬送はスムーズか 「顔の見える関係」を構築している

大場 諭議員(公明党)

市北部地域は、松戸市などに隣接している。近隣市への救急搬送などはスムーズに行われているのか。また、同地域を含め本市には三次救急医療機関が無いが、どう対応していくのか。

市北部地域は、市全域の中では市外への搬送が多い地域特性があるが、関係病院や近隣市の消防局との間に「顔の見える関係」を構築することで円滑な受け入れが行われている。また、三次機関の新設は現実的でないため、機能を補完する東京ベイ・浦安市川医療センターの整備に取り組んでいる。

医療費負担軽減にどう取り組む 減免基準を早期に作成したい

二瓶忠良議員(日本共産党)

経済的な理由で医療機関の受診を抑制し、重病化することもあると聞く。低所得者が安心して医療機関に

答 医療費の支払いを減免する特別な理由は、一時的、個別的なものとしており、一律的な基準になじまないとの考えから、個々の事情を勘案し、対応してきた。しかしながら、国の統一的な基準が示されたことにより、本市においても早急に減免対象とすべき基準を作成したいと考えている。

保険料等の負担の重さ どう考える 負担感少なくすることが可能か検討

宮田かつみ議員(市民の声)

不況の影響等で市民の生活が苦しい中、家族に介護が必要になった時、思ったような介護を受けようとする

さに対する市の考えを問う。

答 生活保護世帯に準じる世帯等の負担感は認識している。次期の介護保険料の所得段階等を見直す時に、所得が低い世帯等の負担感を少なくすることが可能か検討していく。引き続き、市の保険料減免制度等についても介護支援専門員の研修会等を通じ周知していく。

西部公民館



南沖公園管理棟の完成イメージ図



保 育

指定管理者制度での保育園運営

ブリティ長嶋議員(市民の声)
指定管理者制度で運営される保育園に対し、保護者から、「審査時は非常に高い評価点を得ながら、なぜ多

**審査基準の見直しが必要ではないか
保護者の意見を受け止め検証したい**

くの問題が起きるのか」との声が寄せられている。

問題を起こすような事業者の参入は制度の根本にかかわる。審査基準の見直しなどの改善が必要と考える

が、課題と対策を問う。
答 当該保育園の指定管理者は、保護者と作成した仕様書に基づく審査基準により選定した。今回の問題は、園の管理体制が脆弱だったことと保護者への対応不足が要因と考えており、審査基準の見直しはしていないが、保護者の意見を真摯に受け止め検証していきたい。

認可外保育園への支援

守屋貴子議員(民主・市民)
認可外保育園は、本市の待機児童解消の一翼を担っていると考え。今後、その有志から園への補助要の支援として、認可化への

**認可化への支援をどう扱うのか
希望する園は支援していきたい**

支援はどう扱っていくのか。また、保護者の中には認可保育園だけでなく、認可外保育園へのニーズもあり、その有志から園への補助要の支援として、認可化への

どう認識しているのか。
答 認可外保育園の認可化は、許可基準等が決まっているため、かなりハードルは高いが、希望する園については支援をしていきたい。また、最初から認可外保育園を選んでいる保護者の事例は承知しており、園への補助の要望については検討していきたいと考えている。

第3子保育料無料化の制度移行

大川正博議員(公明党)
平成23年4月から本市の第3子保育料無料化の制度が国に移行することであるが、このことを議員の私

**制度移行による増収分の使い道は
こども施策に充当していきたい**

達は少し前まで知らなかった。議会軽視の行政主導になっているのではないかと。また、福祉は後退させてはならない。制度移行による、市の増収分の使い道を

どのように考えているのか。
答 制度移行については、市川市社会福祉審議会で慎重に審議されてきたが、今後はできるだけ議会にお知らせをしたいと考えている。なお、社会福祉審議会の児童福祉専門分科会からも、増収分については広くこども施策に充当してほしいとの意見を頂いている。

認可外保育園への支援

稲葉健二議員(緑風会)
本市は認可外保育園について、保護者への保育料補助以外支援を行っていない。浦安市では市独自の基準

**質の向上を目指す対策を進めるべき
補助金交付等 国の動向みて検討**

で設置する、認証保育園制度を導入し、認証保育園等に運営費等補助金を交付している。国の新施策の方向性は、待機児童解消のため、認可外保育園の質の向上と

保護者負担の軽減を挙げている。本市も先行して、対策を進めるべきではないか。
答 認可外保育園の設置者から施設や保育内容などの相談があった時は、必要に応じた支援を行っている。認可外保育園への運営費等の補助金交付については、国の動向が明確になった上で検討していきたい。

施 設

西部公民館のバリアフリー対応

坂下しげき議員(市民の声)
市内でも高齢化率が高い地域にある西部公民館では、エレベーターの設置やフロアリング化の要望が多い

**早期のエレベーター設置など望む
できるだけ速やかに予算要望したい**

にもかわらず、利用者の立場に立ったサービスが提供できていない。市民のニーズに応えた早期の設置を強く要望するが、平成23年度予算で対応できないのか。
答 エレベーター設置の必要性は十分認識している。23年度に設計委託の予算要求を行い、工事については、財政状況等もあるが、事業費が明らかになった段階で、できるだけ速やかに予算要望をしていきたい。フロアリング化については、利用者の意向を参考に、今後の課題としたいと考えている。

南 沖 公 園

寒川一郎議員(みらい)
南沖公園整備の必要性について、これまでの議会において、再三訴えてきた。その結果、公園の整備が計画

**管理棟整備工事の完成時期は
周辺整備含め平成23年3月末の予定**

的に実施され、残っていた管理棟の整備も、現在、進んでいると聞く。管理棟整備の内容と進捗状況、完成時期について問う。
答 整備内容は老朽化した既存の管理棟を建て替え、新しい管理棟に事務室、自転車倉庫、研修室、展示室を設置するもので、平成22年10月から管理棟本体の建築工事を行い、予定通り進んでいる。工期は23年2月28日までだが、管理棟の周辺整備や仮設物の撤去等もあり、全て完成するのは3月末になる予定である。

江戸川周辺整備

金子 正議員(みらい)
江戸川河川敷にあるスポーツ施設等への利用者が多い。しかし、大洲地先には駐車場がなく利用者が困

**大洲地先に駐車場は確保できないか
進入経路の道路幅等から困難な状況**

っている。整備はできないのか。また、大洲地先のマリリーナ付近には、駐車場に利用できそうな土地があるが、そこは検討できないか。
答 大洲地先への進入経路は道路幅が狭く相互通行が難しいことや、住宅地を通行せざるを得ず、住環境の悪化が予想されることなどから、駐車場の確保は非常に困難な状況にある。また、マリリーナ付近の土地は、民間企業が占有する敷地であり、営業上や安全管理上の問題等、利用には多くの課題があると考えている。

私立保育園

谷藤利子議員(日本共産党)
保育内容等について、保護者が不安を感じていると聞く市川駅南の私立保育園では、園の運営法人、市、

**運営法人は3者協議に応じるのか
要望あれば行うとの報告を受けた**

保護者に県も加わった4者による協議がやっと実現したとのことである。保護者は今後、同法人、保護者、市の3者による協議を望んでいると聞くが、同法人に
答 当該の保育園については、市としても保育内容へのアドバース等の支援を行っており、平成22年11月5日には4者による協議が行われた。園の運営法人からは、今後も保護者から要望があれば、3者による協議を行っていきたいとの報告を受けている。

東京外郭環状道路特別委員会

【日 程】

平成22年11月4日～5日

【視察地及び項目】

松江国道事務所

- ・出雲バイパス自転車道整備事業
- ・松江道路（玉湯工区）
- ・宍道湖夕日スポット整備事業
- ・西津田電線共同溝事業
- ・道の駅「湯の川」



宍道湖夕日スポット横断地下道

【主な視察内容】

松江国道事務所では、歩行者と自転車の接触事故を防ぐため自転車の通行スペースを確保した出雲バイパス自転車道整備事業、渋滞解消と交通安全の確保を目的とした松江道路（玉

湯工区）、魅力ある観光資源をつくる宍道湖夕日スポット整備事業、既設電線類の地中化により安全で快適な通行空間を確保する西津田電線共同溝事業や道の駅「湯の川」を視察した。

特 別 委 員 会

の 視 察

行徳臨海部特別委員会

【日 程】

平成22年11月10日～11日

【視察地及び項目】

大阪府

- ・せんなん里海公園
- ・田尻漁港

大阪市

- ・大阪南港魚つり園



大阪南港魚つり園

【主な視察内容】

大阪府では、海の自然と人間が共存・共生する里海の風景を創出し、新しい触れ合いの場を目指すせんなん里海公園、漁村の活性化のため漁獲物の直売や海洋交流センター事業に取り

組む田尻漁港を、大阪市では南埠頭西側の防波護岸に直立波消ブロック等を整備し、市民が手軽に魚釣りを楽しめるレクリエーション施設である大阪南港魚つり園を視察した。

本会議へのご案内

直接ご覧になりませんか

インターネット市議会中継

市議会の本会議は、原則として公開しています。市役所6階の傍聴受付で、住所・氏名・年齢を記入して頂くだけで傍聴できます。傍聴席は105席。車いすでも傍聴できます。会期や開議時間などは議会事務局までお問い合わせください。

市川市議会では、インターネットを通じて議場での本会議の様子をそのまま配信しています。中継は、いちかわインターネット放送局より配信されており、市川市議会や市川市のホームページからアクセスできます。録画・中継では、本会議の内容を、議員ごと、議案ごとに配信しています。ぜひご覧ください。

須和田の丘支援学校小学部（稲越校舎）



教 育

特別支援教育施設整備

学校給食費

松葉雅浩議員（公明党）
市立須和田の丘支援学校は、平成20年度、小学部を稲越小学校に移転、併設したが、既に児童数の増で教室不足である。また、市川特別支援学校は、24年度に高等部の一部を県立北高跡地に移転するが、小中学部の教室不足が心配される。今後の教育環境の整備に努めていく。

児童数増加で教室不足 市の考えは必要な教育環境の確保に努める

桜井雅人議員（日本共産党）
市長は小中学校の給食費無料化を目指すとのことであつたが、平成23年度も保護者負担額が現状維持では物足りない。保護者には給食費に限らず、教材費、制服代、修学旅行費等の負担が掛かっている。積極的に教育費の負担軽減を図るべきと考えるがどうか。

保護者負担の軽減 積極的に財政状況等踏まえ慎重に検討

について、考えを問う。
答 今後も児童数の増加が見込まれることから、稲越校舎は教室の確保に向けて、エレベーターを設けた2階建て、6教室の増築工事を23年度予算に計上している。また、県立市川特別支援学校についても、県と十分協議し、必要な教育環境の確保に努めていく。

について、考えを問う。
答 今後も児童数の増加が見込まれることから、稲越校舎は教室の確保に向けて、エレベーターを設けた2階建て、6教室の増築工事を23年度予算に計上している。また、県立市川特別支援学校についても、県と十分協議し、必要な教育環境の確保に努めていく。

答 食材の現物支給は、保護者負担の軽減や、調和の取れた日本食献立の充実等からも高い評価を得ており、今後も学校給食費負担軽減事業として継続したい。保護者負担の軽減は、市の財政状況や国の子育て支援施策の動向、保護者の意向を踏まえ、給食費無料化と併せて慎重に検討していく。

財 政

自治体会計

保護者負担の業者テスト

宮本 均議員（公明党）
財務会計処理に直接かわらない職員のコスト意識が薄い。行財政改革を進めるには職員の意識改革が必ずすべきと考えるがどうか。

財務諸表公開時期の前倒しすべき 早い時期に公開するよう努めたい

湯浅止子議員（社民・市民）
新聞報道に、小学生以上の子を持つ家庭の平成22年度の教育費は、年収の37.6%に達し、家計を圧迫しているとのあった。本市の小中学校では保護者負担の業者テストを導入しているが、特に中学3年生は、高校受験を控えて、保護者の負担が増える。この時期に、より

家計に負担増 実施の必要あるのか 今後も過剰とならないよう配慮

答 行政コスト計算書の活用で行政サービスの総コストや費用対効果が見えてくる。これを職員の意識改革につなげたい。また、財務諸表の公開時期は、財務処理作成支援システムの改善や事務フローの再検証により、決算の認定に合わせるように努めていきたいと考えている。

負担となる業者テストを実施する必要があるのか。
答 業者テストは母集団が大きく、得られたデータからは、より客観性の高い学力状況の把握が可能となる。そのため学校では学習方法の改善等に活用しているが、今後も、保護者負担が過剰とならないよう、配慮する必要があると考えている。

議 案 等 の 審 議 結 果 一 覧

	件 名	各 会 派 の 賛 否										審 議 結 果
		公 明 党	自 由 ク ラ ブ	日 本 共 産 党	民 主 ・ 市 民 連 合	緑 風 会	市 民 の 声	み ら い	社 民 ・ 市 民 ネット	つ ば さ		
○市長提出												
議 案第27号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
28号	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
29号	市川市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	×	△	○	○	○	○	○	可 決	
30号	市川市特別職の職員の給与及び議員報酬等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
31号	市川市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
32号	市川市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
33号	市川市環境保全条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
34号	市川市都市公園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
35号	市川市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
36号	市川市火災予防条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
37号	平成22年度市川市一般会計補正予算(第 6 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
38号	平成22年度市川市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
39号	平成22年度市川市下水道事業特別会計補正予算(第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
40号	平成22年度市川市介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
41号	平成22年度市川市市川駅南口地区市街地再開発事業特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
42号	平成22年度市川市病院事業会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
43号	市川市北消防署新築工事請負契約について	○	○	○	○	○	△	○	○	○	可 決	
44号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
45号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
46号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
47号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
48号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
49号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
50号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
51号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
52号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
53号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
54号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
55号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
56号	損害賠償請求事件の和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
57号	損害賠償請求事件の和解について	○	○	○	○	○	△	○	○	○	可 決	
58号	損害賠償請求事件の和解について	○	○	○	○	○	△	○	○	○	可 決	
報 告第16号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認	
17号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認	
○議員提出												
発 議第23号	市川市特別職の職員の給与及び議員報酬等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
24号	地方経済の活性化策を求める意見書の提出について	○	○	○	△	○	○	○	○	○	可 決	
25号	切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書の提出について	○	○	○	△	○	○	○	○	○	可 決	
26号	ヒトT細胞白血病ウイルス 1 型(HTLV-1)総合対策を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
27号	脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
28号	T P P (環太平洋戦略的経済連携協定)参加に反対する意見書の提出について	×	△	○	×	○	×	○	△	×	否 決	
29号	尖閣諸島をめぐる紛争の正しい解決を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	
30号	日口領土交渉の再検討を求める意見書の提出について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決	
31号	子ども・子育て新システムの見直しを求める意見書の提出について	×	△	○	×	×	×	○	○	○	否 決	
32号	介護保険制度の改定に反対し、公費負担の引き上げを求める意見書の提出について	×	×	○	×	×	×	○	○	×	否 決	
33号	国民健康保険の広域化に反対し、国庫負担の増額を求める意見書の提出について	×	×	○	×	×	×	×	○	×	否 決	
○陳 情												
陳情第21-22号	「ふるさと納税」に関わる陳情(閉会中継続審査事件)	×	×	○	×	×	△	×	○	×	×	不採択
22-8号	「市有地における宗教施設の設置状況」に関わる陳情(閉会中継続審査事件)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
22-9号	「市歳入増」に関わる陳情(閉会中継続審査事件)	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	不採択
22-16号	映像文化センターに関わる陳情(閉会中継続審査事件)	×	×	○	×	×	△	×	○	×	×	不採択

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

陳情の取り扱いの変更について

市川市議会では、平成23年2月定例会の審査分から、陳情の取り扱いについては、委員会に付託せず、各会派へ参考配付することになっています(平成22年11月25日議会運営委員会決定)。なお、請願(紹介議員のあるもの)は従来どおり取り扱われています。

請願・陳情

意見書

12月定例会には、新たに請願1件、陳情5件が提出され、閉会中継続審査事件となっていた案件と併せて所管の各委員会で審査しました。議会はこのうち、陳情4件を不採択としました。(審議結果は左表)

12月定例会には、意見書案10件が提出され、議会はこの意見書案のうち、6件を可決、4件を否決しました。可決した意見書は、12月14日に関係行政庁へ送付しました。(審議結果は左表)

ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書(要旨)

ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)は、成人T細胞白血病や脊髄疾患等をひき起こす。国内の感染者数(キャリア)は100万人以上と推定されるが、一度感染すると現代の医学ではウイルスを排除できず、根本的な治療法は確立されていない。現在の感染経路は、母子感染が6割以上を占める。ウイルスの潜伏期間が40～60年と長く、自身がキャリアと知らずに子供を母乳で育て、数年後に自身が発症して初めて我が子への感染を知らされるケースがある。平成22年10月6日、厚生労働省は、HTLV-1抗体検査を妊婦健康診査の標準的な検査項目に追加し、公費負担の対象とできることとした。これにより全国で感染拡大防止対策が実施されることになるが、そのための環境整備が不可欠である。よって政府におかれては、医療・保健関係者の研修の実施や相談体制の充実、診療拠点病院の整備、予防・治療法の研究開発、国民への正しい知識の普及啓発等の総合的な対策を早急に実現するよう強く要望する。

○平成23年定例会開会予定日○

2月定例会	2月14日(月)
6月定例会	6月10日(金)
9月定例会	9月2日(金)
12月定例会	11月25日(金)

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

○田中幸太郎	○つばさ	○かいづ	湯浅止子	秋本のり子	かつまた竜大	社民・市民ネット	寒川一朗	金子清正	岩井清郎	みらい	鈴木啓一	坂下イキ	ブリテン	宮田かつみ	市民の声	松永修巳	稲葉健二	松内鉄海	竹内清海	緑風会	守屋貴子	荒木詩郎	並木まさ郎	石原美佐子	佐藤義一	民主・市民連合	谷藤利子	桜井雅人	二瓶忠良	清水みな子	金貞作	高井紘一	井上義勝	五関武貞	加藤幸三	中藤幸三	増山紀郎	自由クラブ	笹浪妙子	小戸村浩	戸村葉浩	松村優	堀越雅	大場諭	宮本均	大川正博	公明党	(現員数40名)	会派別議員名簿
--------	------	------	------	-------	--------	----------	------	------	------	-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-----	------	------	-------	-------	------	---------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	------	-----	----------	---------

※○は会派代表者。